

株主・投資家の皆様へ

minamina^{Vol.17}通信

第17期中間期・株主通信 平成26年4月1日 ▶ 平成26年9月30日

MEDICAL SYSTEM NETWORK

わたしたちの目指すもの

良質な医療インフラの構築を通じて
地域住民のQOL (Quality Of Life)
向上に貢献すること
～すべては地域の人々の笑顔のために～

株式会社 メディカルシステムネットワーク

証券コード：4350

「mina mina (みなみな)」とは、アイヌ語で「にこにこ笑う」という意味の言葉です



代表取締役社長 田尻 稲雄

Q 1 第2四半期の市場環境、また決算のポイントなどについて教えてください。

A 1 主力事業である調剤薬局事業が堅調に推移したことから売上高は35,911百万円（前年同期比18.0%増）となりました。利益面につきましては、平成26年4月の薬価改定及び調剤報酬改定の影響等により、営業利益888百万円（同26.4%減）、経常利益850百万円（同27.5%減）、四半期純利益230百万円（同46.7%減）となりました。

Q 2 持続的な成長へ向けて、下期の取り組みテーマとしては、どのような点が挙げられますか？

A 2 1つ目は、医薬品ネットワークの加盟推進です。今回の薬価改定及び調剤報酬改定により調剤薬局の経営環境は厳しさを増しておりますが、その結果、上期は中小の調剤薬局を中心にネットワーク加盟の引き合いが大幅に増加しました。下期も中小薬局の経営課題の解決に貢献できるよう、引き続き医薬品ネットワークの加盟推進に注力してまいります。

2つ目は、調剤薬局事業の採算性向上です。この下期には調剤本部システムの導入を予定しております。これにより店舗及び本部事務の効率化と経営分析や経営管理の充実が図られます。エリア子会社の集約とあわせ、業務の効率化による間接コストの削減を図ってまいります。また、在宅医療への取り組み、後発医薬品への取り組みを一層推進することで、今回の

改定が求める医療費抑制と、地域包括ケアシステムの一翼を担って地域に貢献できる薬局機能との両立を図ってまいります。

Q 3 最後に利益還元方針ならびに株主の皆様へのメッセージをお願いします。

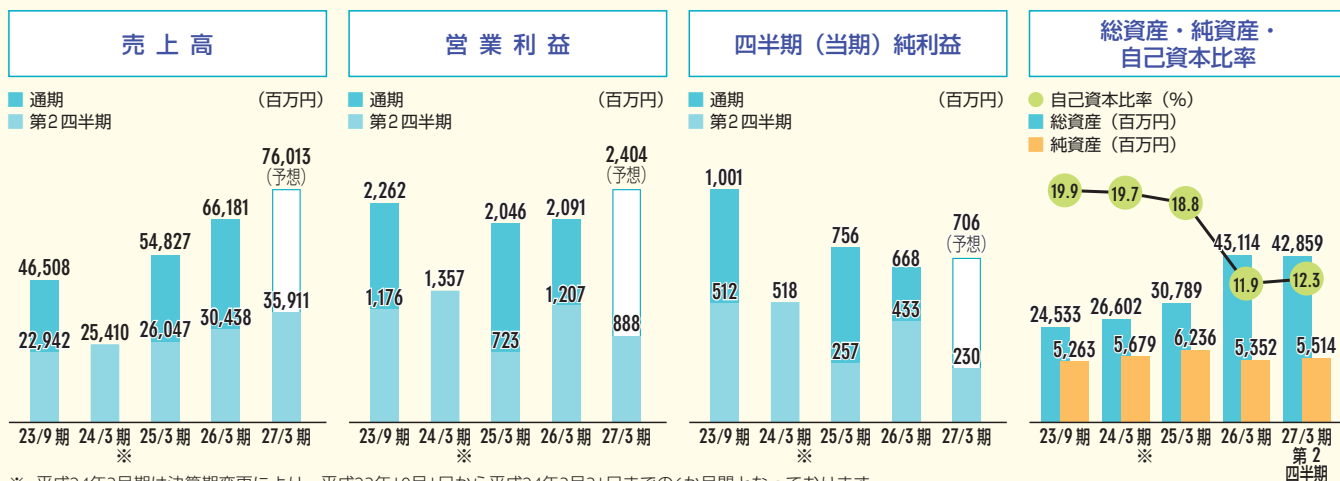
A 3 当社は、財務体質の強化、事業規模の拡大、人材育成等のために必要な内部留保を確保しつつ、業績に見合った形で株主の皆様へ安定した配当を継続して実施していくことを基本方針としております。

「良質な医療インフラの構築を通じて地域住民のQOL（Quality Of Life）向上に貢献する」というグループ理念を実現するべく、引き続き事業に邁進していく所存です。

株主の皆様におかれましては、今後ともご支援のほど、宜しくお願い申し上げます。

主な経営指標の推移

FINANCIAL HIGHLIGHTS



◆ 医薬品等ネットワーク事業

システム売上が減少したこと等により、売上高は1,353百万円（前年同期比6.9%減）となりましたが、受発注手数料収入が堅調に推移したこと等により、営業利益は737百万円（同2.9%増）となりました。また、医薬品ネットワーク加盟件数は、大口先（230店舗）が脱退した影響等により、平成26年9月30日現在、1,053件（前期末比110件減）となりました。

◆ 調剤薬局事業

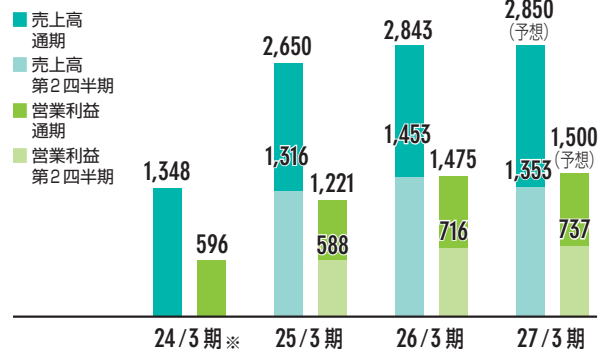
既存店舗の売上が底堅く推移したことに加え、前連結会計年度にM&Aにより取得した店舗の業績寄与等により、売上高は34,061百万円（前年同期比16.6%増）となりましたが、平成26年4月の薬価改定及び調剤報酬改定の影響等により、営業利益813百万円（同24.4%減）となりました。

第2四半期連結累計期間に調剤薬局6店舗を新規出店するとともに株式取得により3社（9店舗）、事業譲受けにより1店舗を取得する一方、6店舗を閉鎖しました。また、グループ会社の合併（3社）を行い、収益基盤の強化を図りました。

■ 平成27年3月期第2四半期実績

売上高	1,353百万円	（前年同期比6.9%減）
営業利益	737百万円	（前年同期比2.9%増）

売上高・営業利益の推移 (百万円)

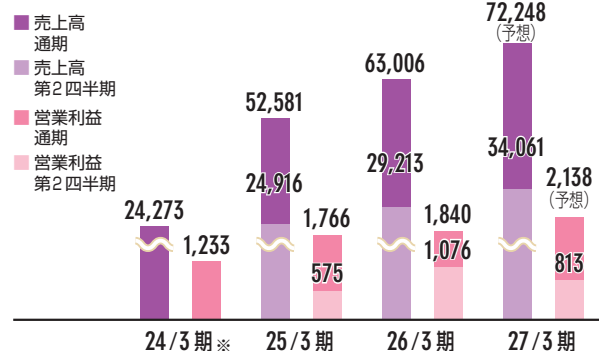


※ 平成24年3月期は決算期変更により、平成23年10月1日から平成24年3月31日までの6か月間となっております。

■ 平成27年3月期第2四半期実績

売上高	34,061百万円	（前年同期比16.6%増）
営業利益	813百万円	（前年同期比24.4%減）

売上高・営業利益の推移 (百万円)



※ 平成24年3月期は決算期変更により、平成23年10月1日から平成24年3月31日までの6か月間となっております。

◆ 賃貸・設備関連事業

不動産賃貸収入が増加したことにより、売上高は715百万円（前年同期比15.0%増）となったものの、医療と介護の複合型施設として平成25年5月に開業したサービス付き高齢者向け住宅（以下、サ高住）「ウイステリア清田」にかかる減価償却費が先行すること及び今後のサ高住新設のために人員体制を強化したことによる労務費の増加等により営業損失21百万円（前年同期は6百万円の損失）となりました。

なお、ウイステリア清田の入居件数は、平成26年9月30日現在、全75戸中55戸と概ね順調に推移しております。

◆ 給食事業

本事業に関しましては、株式会社トータル・メディカルサービスのフードサービス事業部及び株式会社さくらフーズにおいて病院・福祉施設内での給食事業受託業務を行っております。本事業の売上高は967百万円、営業損失6百万円となりました。

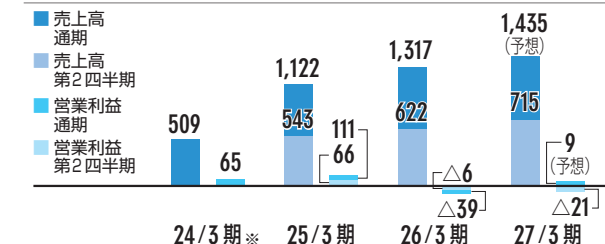
◆ その他事業

本事業に関しましては、株式会社エスエムオーメディスが治験施設支援業務を行っております。新規案件の組入が遅延したことから、本事業の売上高は92百万円（前年同期比24.9%減）、営業損失37百万円（前年同期は営業利益6百万円）となりました。

■ 平成27年3月期第2四半期実績

売上高	715百万円	（前年同期比15.0%増）
営業利益	△21百万円	

売上高・営業利益の推移 (百万円)

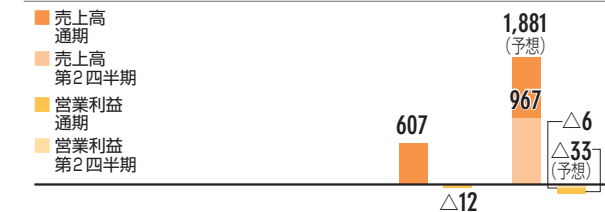


※ 平成24年3月期は決算期変更により、平成23年10月1日から平成24年3月31日までの6か月間となっております。

■ 平成27年3月期第2四半期実績

売上高	967百万円	
営業利益	△6百万円	

売上高・営業利益の推移 (百万円)

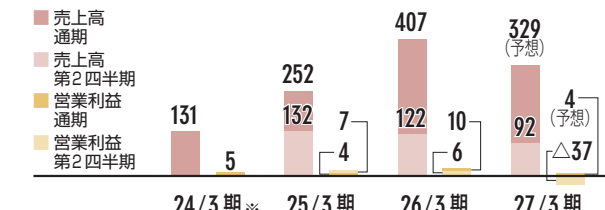


※ 平成26年3月期は平成25年12月から平成26年3月までの4か月間の業績となっております。

■ 平成27年3月期第2四半期実績

売上高	92百万円	（前年同期比24.9%減）
営業利益	△37百万円	

売上高・営業利益の推移 (百万円)



※ 平成24年3月期は決算期変更により、平成23年10月1日から平成24年3月31日までの6か月間となっております。

◆賃貸・設備関連事業TOPICS

医療体制の空洞化を防ぎ、理想的な地域包括ケアシステムの実現を目指す

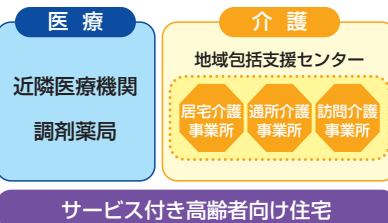


サービス付き高齢者向け住宅 「ウイステリア小樽稲穂(仮称)」着工

平成26年9月11日、当社グループの株式会社日本レーベンが北海道小樽市に建設を予定している「ウイステリア小樽稲穂(仮称)」の地鎮祭が執り行われ、社員や建設会社関係者のほか、小樽市長や商工会議所会頭など約60名が出席し、工事の安全を祈願しました。

この「ウイステリア小樽稲穂(仮称)」は、小樽市中心部に建設され、相次ぐ大病院の移転によって生じた医療体制の空洞化を防ぐとともに、近隣の医療機関や調剤薬局、地域包括支援センターや介護事業

所との連携によって、より質の高い医療・介護のサービスを提供する「医療」と「介護」の複合型施設として、地域包括ケアシステムの実現を目指します。



◆調剤事業TOPICS

ファーマホールディンググループ

調剤本部システム・オリジナルお薬手帳を導入

ファーマホールディンググループ薬局では、調剤本部システムの本格的な稼働を、平成26年12月から予定しています。レセプトコンピュータやレジに入力された売上・在庫・入金等の自動集計、ならびに会計システムへの自動仕訳によって、店舗及び本部事務の効率化や

経営分析・経営管理の充実を図ります。

また、患者さま・薬剤師・医師の情報共有ツールとしてのお薬手帳の役割を見直し、ファーマホールディングオリジナルお薬手帳を作成。各店舗での使用を開始しています。お薬や各種検査値などの記録ページのほか、検査値の解説や健康に役立つ情報を掲載するなど、内容の充実を図りました。なの花薬局キャラクター「なーの」が表紙のこども用お薬手帳には、「お薬飲んだらシール」が付いており、お子様とご家族と一緒に健康管理を楽しめるようになっています。さらにスマートフォン

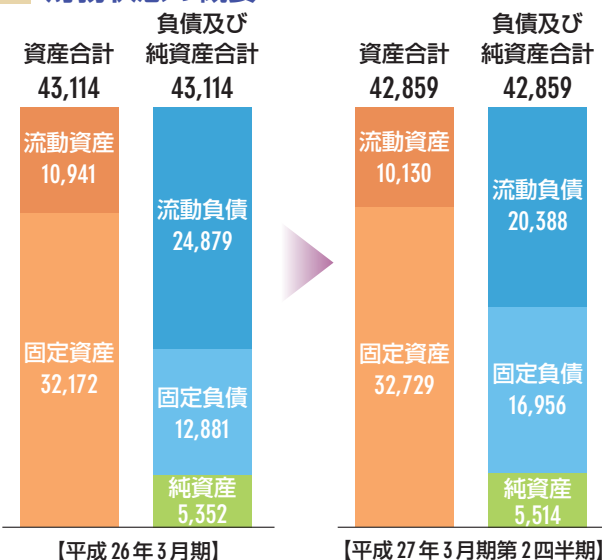
平成26年12月からリリース予定です。

セルフメディケーションの観点から、日々の健康を総合的にサポートするツールとして、お薬手帳の活用を患者さまにご提案します。



財務状態の概要

(単位：百万円)

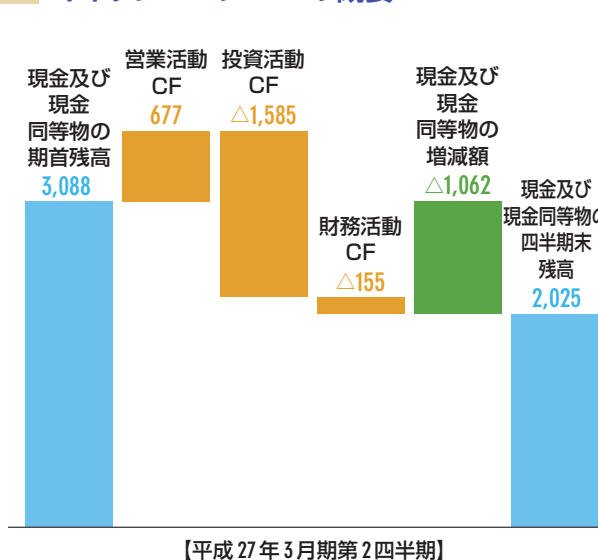


【平成26年3月期】

【平成27年3月期第2四半期】

キャッシュ・フローの概要

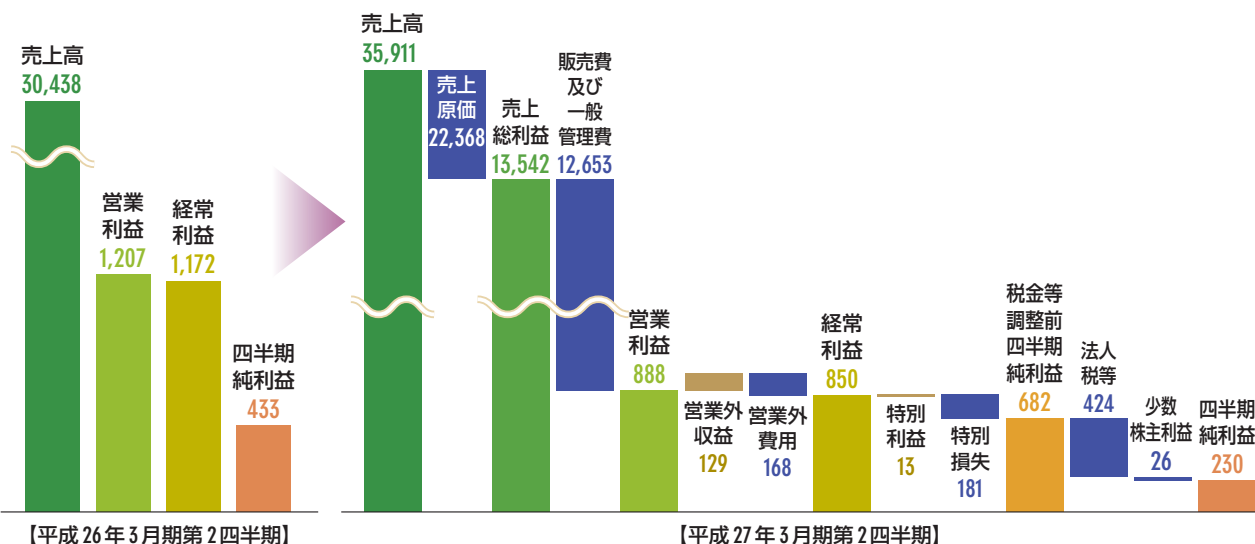
(単位：百万円)



【平成27年3月期第2四半期】

損益の概要

(単位：百万円)



【平成26年3月期第2四半期】

【平成27年3月期第2四半期】

会社概要

社名 株式会社メディカルシステムネットワーク
本社 北海道札幌市中央区北10条西24丁目3番地
設立 平成11年9月
資本金 1,091百万円
代表者 代表取締役社長 田尻稲雄
主な子会社 株式会社システム・フォー
株式会社H&M
株式会社ファーマホールディング
株式会社北海道医薬総合研究所
株式会社日本レーベン
株式会社エスエムオーメディシス

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月
配当の基準日 9月30日、3月31日（年2回）
1単元の株式数 100株
公告方法 電子公告（http://www.msnw.co.jp/IR_kabushiki_07/）
但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社

各種お取扱・お問い合わせはこちらまで

お取扱窓口 ……証券会社等に口座をお持ちの場合、住所変更や買取請求等株主様の各種お手続きは、原則として口座を開設されている証券会社等経由で行っていただくこととなりますので、ご利用の証券会社等へご連絡をお願いいたします。

証券会社等に口座をお持ちでない場合（特別口座の場合）、下記のお取扱店にてお取次いたします。（みずほ証券で単元未満株式の買増請求手続きをされる場合は、事前にみずほ信託銀行が指定する口座に送金していただく必要があります。）

なお、支払明細の発行に関するお手続きにつきましては、みずほ信託銀行の下記連絡先にお問い合わせください。

お問い合わせ先 ……〒168-8507

東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
フリーダイヤル

0120-288-324（土・日・祝日を除く 9:00～17:00）

お取扱店 ……みずほ証券

本店、全国各支店および営業所
プラネットブース（みずほ銀行内の店舗）

みずほ信託銀行

本店および全国各支店

未払配当金のお支払 ……上記お取扱店および、みずほ銀行の本店および全国各支店（みずほ証券では取次のみとなります）

お知らせ

金融情報配信会社 株式会社
フィスコによる当社について
の企業調査レポートを配信し
ています。



配信媒体

- ヤフーファイナンス、MSNマネーなどのポータルサイト
- トムソンロイター、ブルームバーグなどの投資専門家向けプラットフォーム
- 各証券会社のイントラネット（証券営業担当向け）など

当社HPにも掲載しています。
ぜひご覧ください。

<http://www.msnw.co.jp>

IRのお問い合わせ先

株式会社メディカルシステムネットワーク
経営企画部 IR 担当
TEL：011-612-1069 FAX：011-612-1068
e-mail：info@msnw.co.jp

